

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 23 No.8 2021年4月30日

製品・サービス動向-国内

■KDDIとMICIN:約5,000の医療機関が登録するオンライン診療サービス「curon for KDDI」を5月下旬から提供開始

(4月28日)

KDDI 株式会社 (<https://www.kddi.com/>) (東京都千代田区) は、同社が提供している健康支援アプリ「au ウェルネス」の機能を拡張し、株式会社 MICIN (<https://micin.jp/>) (東京都千代田区、マイシン) との協業で、新たにオンライン診療サービス「curon(クロン) for KDDI」を5月下旬から提供開始する。



<オンライン診療イメージ>

Curon for KDDI でのオンライン診療イメージ (KDDI)

Curon for KDDI は、au ウェルネスからシームレスに利用できるオンライン診療サービス。顧客は、予約・問診・診察・決済・処方箋送付の手続きまでをスマートフォン上で完結することが可能となっている。移動の負担や感染症リスクの軽減などが期待でき、定期的な通院が必要な顧客などが無理なく治療を続けられるようになっている。curon for KDDI には約5,000の医療機関が登録されており、全都道府県で利用が可能になっている。

予約では、医療機関検索機能から受診したい病院・クリニックを選択し、都合のよい日時に診療の予約が行える。予約確定後問診を回答し、そして診察では、予約した日時に医師とビデオ通話することで受診ができるようになっている。診療後、クレジットカードで自動決済する形。処方箋や薬(院内処方の場合)の配送も可能となっている。なお、au PAY による決済についても6月以降に提供予定となっている。

オンライン診療システムの利用料は、診察1回あたり330円(税込)。

au ウェルネスでは、歩数・体重・消費カロリーなどのデータ管理やオンラインエクササイズ、動画視聴、健康相談などが行え、今回、Curon for KDDI が追加された形になる。プレミアムコース月額385円。なお、オンライン診療システムを利用する場合利用料がかかる。

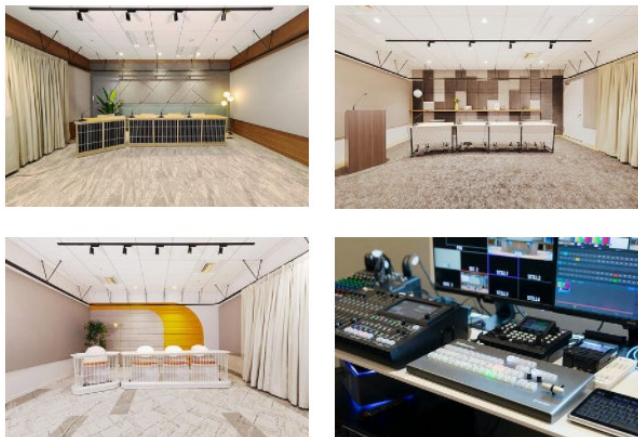
■バイキューブ：オンラインセミナー・イベント配信専用スタジオ「PLATINUM STUDIO」を白金高輪に開設、旧スタジオから規模2倍、配信設備もより充実に

(4月26日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、5月1日、企業がオンラインセミナーやオンラインイベントのライブ配信・撮影が行える専用スタジオ「PLATINUM STUDIO(プラチナスタジオ)」を白金高輪 NBF プラチナタワーに開設すると発表。これに伴い「Studio Oct(スタジオ オクト)」(2014年

11月開設)は4月30日で閉鎖する。

白金高輪NBFプラチナタワーは同社の本社が入るビル。その10Fのフロア全体をPLATINUM STUDIOとして改装し、3エリアに分割し、14の常設スタジオを設けた。これはStudio Octの2倍の規模となる。



<「PLATINUM STUDIO (プラチナスタジオ)」の様子>

PLATINUM STUDIO(ブイキューブ)

ブイキューブでは、2019年年間約2,400回、2020年は年間約4,700回と配信数が急増している。専門スタッフによるサポートと設備の整った環境で安心してオンラインイベントやオンラインセミナーに取り組みたいと配信専用スタジオの利用も急増していることから、顧客のニーズに応えるため、スタジオを増床した。

スタジオの広さは3タイプ設けるとともに、内装は全て異なるデザインで、オンラインセミナーやイベントの内容に合わせて、顧客が選ぶことが可能。また全スタジオには控室やメイクルームがあり、事前準備等に自由に使えるようになっている。

また、背景合成機器やリモートコントロールなど配信設備をStudio Octより充実させており、11スタジオに常設した。映像合成による訴求力を高めたオンラインセミナーの配信・オンディマンドコンテンツの制作などを可能としている。

さらに、オンラインセミナーが初めての顧客でも、事前準備から当日の配信まで専門スタッフによる技術面と運用面でのサポートも引き続き提供していくとし

ている。

■クリエイティブメディア：フルHD対応マイク内蔵Webカメラ「Live! Cam Sync 1080p V2」の発売、「VoiceDetect」機能や「NoiseClean-out」機能を搭載

(PRTIMES:4月22日)

クリエイティブメディア株式会社 (<https://jp.creative.com/>) (東京都千代田区)は、4月下旬より、フルHD対応マイク内蔵Webカメラ「Live! Cam Sync 1080p V2」の販売を開始する。主要なビデオ会議ソフトウェアに対応しており、直販限定で価格は税込み5,700円。

LIVE! CAM SYNC 1080P V2



Live! Cam Sync 1080p V2 (クリエイティブメディア)

Live! Cam Sync 1080p V2は、先代モデルの「Live! Cam Sync 1080p」と同様に、大口径レンズとフルHDイメージセンサーを採用しており、最大1920x1080/30fpsの高解像度ビデオを鮮明かつスムーズに取り込むことができる。視野角77°のワイドアングルで、1人でのビデオ通話はもちろん、2~3人のグループ通話にも対応する。USBポートに接続するだけですぐに使える。Live! Cam Sync 1080p V2では、マイクやボイスコミュニケーション機能が進化しているという。

本体には、音声を効率よく集音するように改良され

たデュアルマイクを搭載しており、2つのマイクによって、1人はもちろん、複数人のグループで通話に参加する場合もメンバーの声をしっかり届ける。

加えて、発言する時だけマイクが有効に発言しない時はマイクが無効となる「VoiceDetect」機能、自分側の背景ノイズ音を低減して通話相手にクリアな音声を届ける「NoiseClean-out」機能を提供している。

VoiceDetect 機能では、会議参加者の声を検知して自動でマイクをオン/オフするため、発言時のマイクの入れ忘れや、他者の発言時に不要な音声の混入を防ぐことが可能。話す前や話終えた際に、いちいち操作をする必要がない。

NoiseClean-out 機能では、扇風機、エアコン、空気清浄機、加湿器、掃除機、ドライヤー、電気ひげそり、芝刈り機など環境に常在するような背景ノイズ音の低減に適しているという。ノイズキャンセレーション機能によって背景ノイズ音を低減してクリアな音声を通話相手に届けるとしている。

Live! Cam Sync 1080p V2 は、プライバシーや設置にも柔軟に対応している。本体のレンズには、カバーキャップが付いており、カメラレンズを物理的に隠してワンタッチでプライバシーを守ることができる。また、上下 30° / 水平方向 360° に向きが変更可能なユニバーサルマウントクリップで液晶モニターを挟んでカメラを設置したり、クリッププレートのネジ穴に市販の三脚を装着して、デスクトップ上にカメラを設置することも可能。

一方、より快適に使うためのダウンロード提供のソフトウェアもある。Windows PC を使用の場合は、ダウンロード提供のソフトウェア「Creative アプリ」をインストールすることにより、ビデオ会議やボイスチャットでの音声通話で発生する問題を改善し、オンラインコミュニケーションをより便利にそして快適に行うために開発された「スマートコミュニケーションキット」を利用することができる。

クリエイティブメディアによると、在宅ワークやリモート学習などビデオ通話、オンラインコミュニケーションシーンで活用していただきたい、としている。

■プラスヴォイス：三井ダイレクト損害保険と業務委託契約を締結し「三井ダイレクト損保 手話通訳サービス」の提供を開始

(4月30日)

株式会社プラスヴォイス (<https://plusvoice.co.jp/>) (宮城県仙台市) は、4月30日より、三井ダイレクト損害保険株式会社 (<https://www.mitsui-direct.co.jp/>) (東京都文京区) と業務委託契約を締結し、耳が聞こえない顧客を対象とした「三井ダイレクト損保 手話通訳サービス」の提供を開始する。



三井ダイレクト損保 手話通訳サービス サービスイメージ (プラスヴォイス)

本サービスは、顧客からの事故の連絡や自動車保険の見積もり、契約に関する問い合わせなどを、プラスヴォイスの通訳者が手話や筆談・文字チャットにて受け、その内容を三井ダイレクト損保のコールセンターに音声通話にてリアルタイムに通訳するもの。

三井ダイレクト損保ではこれまでも、耳が聞こえない顧客からの問い合わせは、ウェブサイトやメールでやりとりしていたが、「自動車保険を、もっとやさしく。」という想いのもと、よりスムーズな対応を可能にするため、本サービスの提供を開始した。

プラスヴォイスによると、今後も耳が聞こえない顧

客のニーズや期待に応えるため、顧客の立場に立って不便さを想像し、誰もがあたりまえに暮らしやすい社会を目指し、顧客と企業に対して、利便性と安全性を備えた良質な通訳サービスを提供していくことに努めるとしている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（5月）

「徹底解説！失敗しないウェビナーツールの選び方」「ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！スマートグラスオンライン体験セミナー」「Web会議だけではもったいない！

Zoom活用術をご紹介」など

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（5月）

「Webex Meetings の基本」「Webex Meetings の新機能」

「Webex Events の概要、新しい機能のご紹介」など

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2021年4月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp